

アジア獣医師会連合（FAVA）代表者会議・開催 !!

2024年10月23日（水）、韓国・大田（テジョン）市の大田コンベンションセンターにおいて、第46回アジア獣医師会連合（FAVA）代表者会議が開催されました。

今回の代表者会議は、「第23回アジア獣医師会連合大会・FAVA2024」（10月25日～27日）の開催に先立ち開催されたものです。

【藏内勇夫 FAVA 会長：開会挨拶】

FAVA 代表者会議は、FAVA の事業や活動について議論する場であると同時に、私たちが共有するビジョンと、直面する課題に対して意見を交わし、絆を一層強化する貴重な機会でもあります。

ここに集う私たちは、皆、獣医師として動物のケアや福祉、地域社会の生活の質を向上させるという使命を胸に、日々全力で取り組んでいます。

獣医師の役割はますます広がり、動物の健康管理や福祉向上に留まらず、公衆衛生の推進や食の安全確保にまで及んでいます。

また、私が長年取り組んでいる「ワンヘルス」は、今や獣医師がその中心に立ち、動物・人間・環境の健康を一体的に守るという、世界的に重要な課題として位置づけられています。

（一部抜粋）



藏内会長



【FAVA 会長職の引継式】

藏内会長からの活動報告等の終了後、FAVA2022-2024年度会長（藏内勇夫日本獣医師会会長）から FAVA2024-2026 年度会長（ホ・ジュヒョン大韓獣医師会会長）への FAVA 会長職の引継式が行われました。



藏内前会長 木新会長



【藏内勇夫 FAVA 前会長：挨拶】

会長に就任してからこれまでの2年間、アジア・オセアニア地域の各国を積極的に訪問し、リーダーたちに「ワンヘルス」の重要性を訴えてまいりました。各国の獣医師会とも協力しながら、ワンヘルスに関する講演を行い、この考え方の普及に尽力しました。特に、アジア獣医学校協会（AAVS）やアジア大洋州医師会連合（CMAAO）との間で、「ワンヘルスの推進に向けた覚書（MOU）」が締結できたことは、大きな成果だと感じています。さらに、FAVAの皆様のご理解とご支援のおかげで、昨年8月、福岡にFAVAの日本事務所である「FAVA ワンヘルス福岡オフィス（FOF）」を設立することができました。

私は、このオフィスを拠点に、福岡県ワンヘルス国際フォーラムの運営をはじめ、福岡県内の大学との連携強化など、様々な活動を展開してまいりました。

今後、私は世界獣医師会（次期会長）で新たな役割と責任を担うことになります。

ただ、私にとってアジア・オセアニア地域が重要であることに変わりはありません。ホ・ジュヒョン新会長とも密に連携し、この地域から世界に向けて、リーダーシップを発揮していきたいと考えています。（一部抜粋）



2024年11月5日

福岡ワンヘルス協議会・事務局